



# EV-neo EV-neo PRO

オーナーズマニュアル



Honda 車をお買いあげいただきありがとうございます。

安全で快適なバイクライフをお楽しみください。

この取扱説明書と共に「メンテナンスノート」を受け取り、下記を確認してください。

- お車の正しい取り扱い方
- 保証内容と保証期間
- 点検・整備について
- 車両受領書・保証書受領書の記入・捺印

安全運転の基本として以下は重要ですので、お守りください。

- この取扱説明書を、よくお読みください
- 取扱説明書の推奨手順に従ってください
- 安全に関する表示を理解し、守ってください

## 安全に関する表示

「運転者や他の方が傷害を受ける可能性のあること」を回避方法と共に、右記の表示で記載しています。これらは重要ですので、しっかりお読みください。



**危険**

指示に従わないと、死亡または重大な傷害に至るもの



**警告**

指示に従わないと、死亡または重大な傷害に至る可能性があるもの



**注意**

指示に従わないと、傷害を受ける可能性があるもの

## その他の表示

### アドバイス

お車のために守っていただきたいこと

車の仕様、その他の変更により、この本の表紙や内容と実車が一致しない場合があります。

車を譲られる場合、次の方にこの取扱説明書およびメンテナンスノートをお渡しください。

この取扱説明書は、**EV-neo** と **EV-neo PRO** について説明しています。イラストは **EV-neo PRO** をベースにしています。

# 目次

安全なライディング P. 2

操作ガイド P. 10

メンテナンス P. 40

こんなときは P. 60

インフォメーション P. 66

スペック P. 75

索引 P. 77

# 安全なライディング

この章では安全な運転のために必要な情報を記載しています。

安全のためによくお読みください。

安全上守っていただきたいこと .....	P.3
安全運転のために .....	P.5
運転するときの注意 .....	P.6
アクセサリーと改造について .....	P.9
積載について .....	P.9

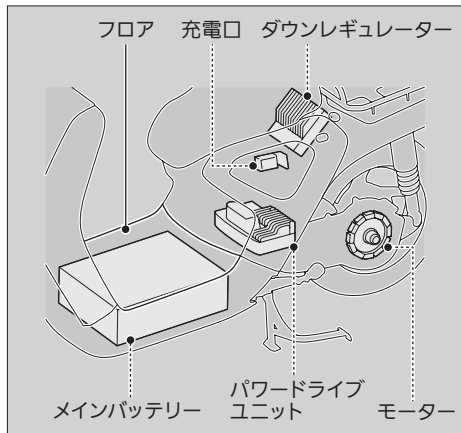


## 安全上守っていただきたいこと

安全のため、日常的に次の内容をお守りください。

- 道路運送車両法に準じて設けられた日常点検・定期点検を行ってください ■P.41

### 電動二輪車の取り扱い



- この電動二輪車は、灯火器などを作動させるサブ（12 V）バッテリーと、モーターを駆動させる高電圧のメインバッテリーを搭載しており、バッテリーの取り扱いは、この取扱説明書に従ってください

#### アドバイス

フロアの上まで水に浸かった場合、メインバッテリーに水が侵入し、故障する可能性があります。走行を避け、ただちに Honda 二輪 EV 取扱店にご相談ください。

### 警告

メインバッテリー、パワードライブユニット、ダウンレギュレーター、充電口、モーターおよびそれらを接続する配線（オレンジ色）には高電圧がかかっており、分解や改造などを行なうと感電や発火の原因となり、死亡または重大な傷害に至る可能性があります。

これらの高電圧部に対し、以下のことを守ってください。

- ・ 分解や改造を行わず、触れないこと
- ・ 点検や修理は Honda 二輪 EV 取扱店に相談すること

- 事故が起きたときには、下記に注意してください
  - ▶ 車体が大きく破損・変形するような事故が起きたときは、感電するおそれがあります。高電圧部位やそれらを接続する配線（オレンジ色）には、絶対に触れないでください。➡P.3
  - ▶ 電解液が眼や皮膚に付くと、侵されたりヤケドを負いますので、電解液には触れないでください。
- **万一の場合の応急処置** P.44
  - ▶ 火災が発生したときは、電気火災用消火器を使用してください。少量の水での消火は、かえって危険な場合があります。万一、消火の際に水を使う場合は、消火栓などから多量の水をかけてください。

## 警告

高電圧のバッテリーを使用しているため、事故が起きたときに誤った対応をすると、思わぬ事故を起こす原因となり、死亡または重大な傷害に至る可能性があります。

事故が起きたときは、この取扱説明書に記載された方法・要領に従ってください。

## 安全運転のために

- 走行中、運転者は両手でハンドルを握り、両足をフロアに置いてください
- 急激なハンドル操作や片手運転などは避け、安全な運転を心がけてください
- エンジン音がしないため、周囲の状況に十分注意し、他の車両や歩行者などに対する配慮を欠かさないでください

### 乗車時の服装

運転者は必ずヘルメットを着用し、天候や走行状況に応じ、安全性が高く運転操作のしやすい、被視認性の高い二輪車用の服装を着用してください。

#### ヘルメット

安全基準を満たし、頭のサイズにあった視認性の高いもの

- 二輪車用で PSC、SG マークか JIS マークのあるものを推奨します
- 正しくかぶり、あごひもを確実に締めてください
- 視界を妨げないフェイスシールドまたはゴーグルなどを使用し、眼を保護してください

### 警告

ヘルメットを正しく着用していないと、万一の事故の際、死亡または重大な傷害に至る可能性が高くなります。

運転者は乗車時、必ずヘルメットを着用してください。

#### グローブ

摩擦に強い皮製のもの

#### ブーツまたはライディングシューズ

滑りにくく、くるぶしまで覆われたもの

#### ジャケット・パンツ

プロテクターを備え、体の露出の少ない長袖・長ズボン

## 運転するときの注意

### 慣らし運転

適切な慣らし運転を行なうと、お車の性能をより良い状態に保つことができます。

#### Ⅰ 慣らしのポイント(走行距離 100 km まで)

- 急発進、急加速、急ブレーキ、急減速を避け、控えめな運転をする

### ブレーキ

次の項目に注意してください。

- 前輪ブレーキと後輪ブレーキを同時に使う
- 不必要な急ブレーキをしない
  - ▶ タイヤをロックさせるなど、車体の安定性を損なうおそれがあります。
  - ▶ コーナリングの際は、コーナーの手前で減速してください。
- 雨天走行など滑りやすい路面に注意する
  - ▶ タイヤがロックしやすく、制動距離が長くなります。

- 連続したブレーキ操作をしない

- ▶ 温度上昇が原因でブレーキの効きが悪くなるおそれがあります。

#### Ⅰ コンビブレーキ

左ブレーキレバーを操作すると、リアブレーキが作動すると共にフロントブレーキが作動し、右ブレーキレバーを操作するとフロントブレーキが作動します。右ブレーキレバーのみ操作した場合と左ブレーキレバーのみ操作した場合では、制動力が異なるため効き具合に違いがあります。

制動力を効果的に得るためには、右ブレーキレバーと左ブレーキレバーを同時に使う必要があります。

#### Ⅰ 雨天または水たまりを走行したとき

路面が滑りやすくなり、ブレーキの効き具合が変化します。慎重なブレーキ操作を心がけてください。ブレーキの効きが悪いときは、ブレーキを軽く作動させながらしばらく低速で走行して、ブレーキを乾かしてください。

## 駐車するとき

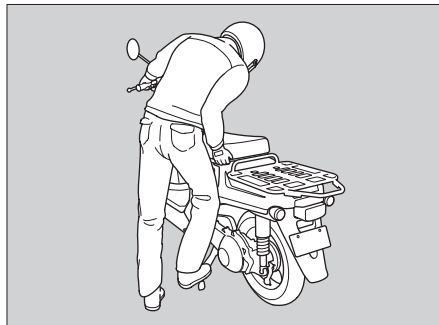
- 交通の邪魔にならない平坦で足場のしっかりした安全な場所に駐車する
- やむをえず傾斜地や足場の悪い場所に駐車するときは、車の転倒や動き出しがないよう安全処置に十分注意する
- 盗難防止のため、車から離れるときは必ずハンドルロックをかけ、キーを抜く

## Ⅰ サイドスタンドまたはメインスタンドでの駐車

1. メインスイッチを OFF にする。
2. サイドスタンドでの駐車  
サイドスタンドを下げ、車の重量がサイドスタンドにかかるまで、車をゆっくり左に傾ける。  
▶ ハンドルを右にきった状態での駐車は、車が不安定になり、転倒するおそれがあります。

## メインスタンドでの駐車

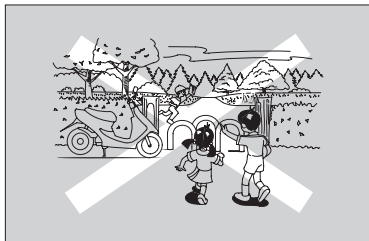
左手でハンドルをまっすぐにし、右手でグリップをしっかり持ち右足でスタンドを左右同時に地面につけて、立たせる。



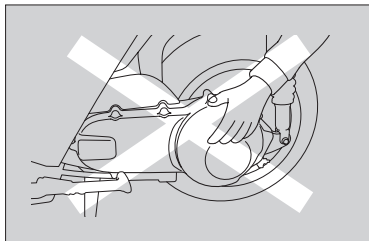
3. ハンドルバーを左いっぱいにする。
4. ハンドルロックをかけ、キーを抜く。▶P.19

## 運転するときの注意

- モーター周辺などが熱くなっているのを、他の方が触れることのない場所に駐車する



- モーター回転中および停止後しばらくの間はモーター周辺などに触れない



### ⚠ 注意

モーター周辺、ブレーキなどは、モーター回転中および停止後しばらくの間は熱くなっています。触れるとヤケドを負う可能性があります。

- ・ モーター周辺、ブレーキなど高温になる部分は冷えるまで触れないこと
- ・ 高温になる部分に可燃物が接触せず、他の方が触れることのないよう配慮すること

## アクセサリーと改造について

アクセサリーを装着する際は、安全面から Honda 純正アクセサリーを推奨します。Honda 二輪 EV 取扱店にご相談ください。

Honda 二輪 EV 取扱店で取り付けられた Honda アクセサリーなどの取り扱いについては、その商品に付属の説明書をお読みください。

車の構造や機能に関係する改造は、操縦性を悪化させたり、ひいては車の寿命を縮めることがあります。不正改造は法律に触れることはもちろん、他の迷惑行為となります。

車の改造は保証の適用を除外されます。

### 警告

不適切なアクセサリーや改造は、万一の事故の際、死亡または重大な傷害に至る可能性が高くなります。

アクセサリーを装着する際は、Honda 二輪 EV 取扱店にご相談のうえ、各取扱説明書に従ってください。

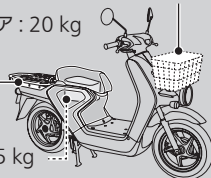
## 積載について

- 荷物を積むと積まないときに比べて操縦安定性が変わるため、安全な速度で走行してください
- 荷物の積みすぎに注意し、確実に固定して安全な速度で走行してください
- ハンドル操作ができなくなる場合があるので、ハンドルの近くに物を置いたり、アクセサリーのフロントバスケットから荷物をはみ出さないようにしてください
- ヘッドライトやウィンカー、テールライト、モーター周辺への積載は避けてください
  - ▶ 過熱によりレンズが溶けたり、荷物が損傷する場合があります。
- 荷物の積載は下記重量までです

フロントバスケット（アクセサリー装着時）：5 kg

リヤキャリア：20 kg

トランク：5 kg



# 基本操作の流れ

## Ⅰ スタート前 ➡ P.41

運転する前に日常点検を行ないましょう。  
バッテリー残量を確認しましょう。



## Ⅱ 加速 ➡ P.22

発進や加速は  
スロットルをゆっくり回し、  
急加速は避けましょう。



## Ⅲ スタート ➡ P.20

周囲の安全を確認して、メインスイッチを  
ON にします。

基本装備の使いかた

- メーター ➡ P.14
- スイッチ ➡ P.18
- ハンドルロック ➡ P.19
- ブレーキロックレバー ➡ P.19



## Ⅳ 発進

後方の安全や周囲の状況に  
注意し、方向指示器で  
合図を出し走り出します。





## 減速 ➡ P.23

STOP!

スロットルをすばやく戻し、前後のブレーキの両方を使い速度を下げ、不必要な急ブレーキは避けましょう。制動灯（ストップランプ）が点灯し、後車への合図になります。

## 駐車 ➡ P.7

安全な場所に駐車しましょう。メインスタンドまたはサイドスタンド、ハンドルロックを確認します。

## 停止

早めに方向指示器で合図を出し、後方や側方の車に注意しながら、徐々に路肩に寄ります。

## 充電 ➡ P.24

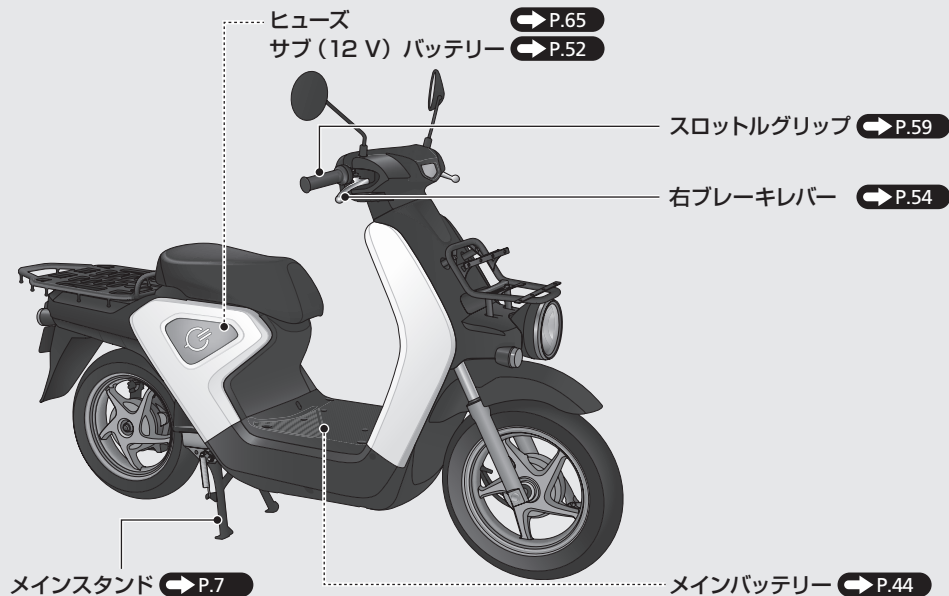


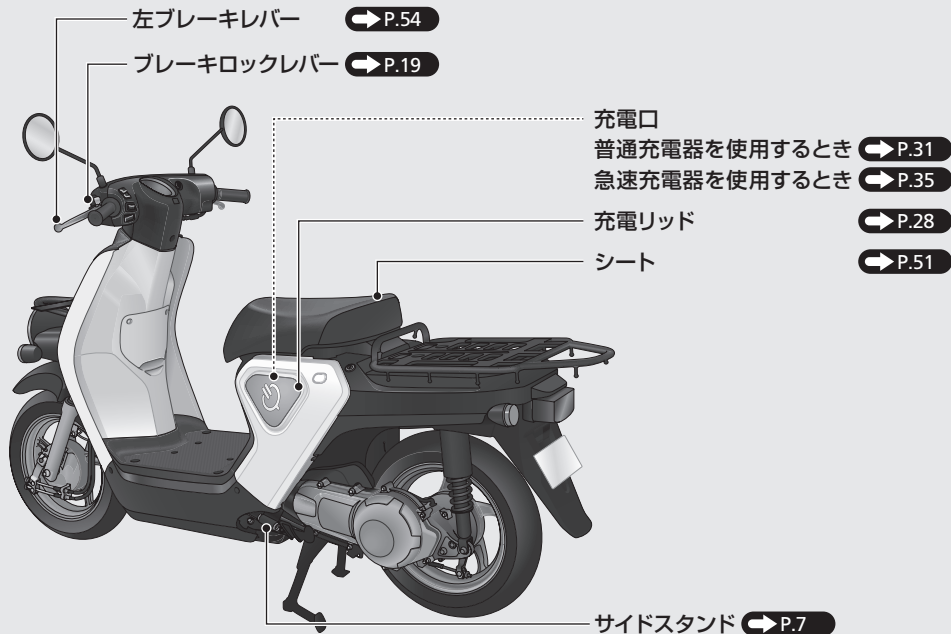
## コーナリング

手前で十分に減速して…

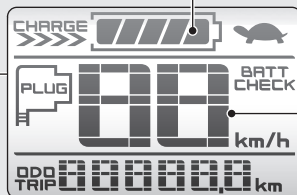
スロットルをゆっくり回して加速します。

# 各部の名称

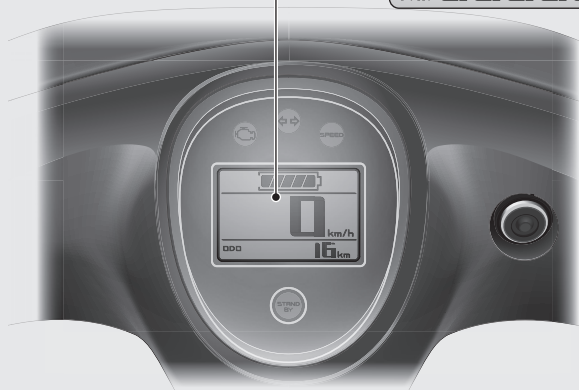




# メーター



スピードメーター（速度計）



## メーターの初期表示






メインスイッチを ON に回すと、全ての表示があらわれ、ピッと音が鳴ります。表示されない部分がある場合や、ピッと音が鳴らなかった場合は、Honda 二輪 EV 取扱店で点検を受けてください。

## バッテリー残量表示灯

メインバッテリーの残量を表示します。残量表示灯の減りかたは、使用環境や運転方法によって異なります。マークの残りが少なくなったときは、早めに充電してください。


バッテリー 残量表示灯	メインバッテリー残量
	80 ~ 100 % 走行可能です。
	60 ~ 80 % 走行可能です。
	40 ~ 60 % 走行可能です。
	20 ~ 40 % 走行可能です。
	10 ~ 20 % 走行可能ですが、 早めに充電してください。
	0 ~ 10 % リザーブ状態です。 『ピッ・ピッ・ピッ』と電子音が 継続して鳴ります。 速やかに安全な場所で停車し、充 電してください。

充電中はメインバッテリーの充電状態を表示します。

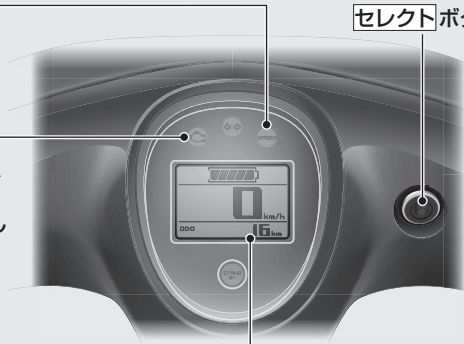
バッテリー 残量表示灯	メインバッテリー充電状態
	0 ~ 20 %
	20 ~ 40 %
	40 ~ 60 %
	60 ~ 80 %
	80 ~ 99 %
消灯	充電完了

# メーター／警告灯

**SPEED** 速度警告灯  
走行中に点滅したときは ➡ P.64

 システム警告灯  
メインスイッチを ON にすると点灯し、  
数秒後に消灯  
メインスイッチ ON 中に点灯・点滅したときは ➡ P.64

セレクト ボタン



オドメーター (ODO) およびトリップメーター (TRIP)

セレクト ボタンを押してオドメーターとトリップメーターを切り換え

ODO 380 km ↔ TRIP 115 km

- オドメーター：総走行距離
- トリップメーター：メーターを 0 km にリセットしてからの走行距離

トリップメーター (TRIP) のリセット

TRIP の状態でセレクト ボタンを 2 秒以上押し続けます。

TRIP 115 km → TRIP 00 km

# 表示灯

## CHARGE 充電中表示灯

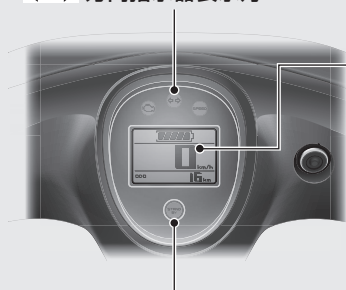
充電しているときに点灯

## >>>> 回生充電表示灯

回生充電時に点灯

回生充電について ➡ P.68

## ↔ 方向指示器表示灯



## STAND BY 待機状態表示灯

停車時の走行可能なときに点滅



## 出力制限状態表示灯

出力制限時に点灯

- ▶ メインバッテリー保護のため、高温または低温時、またはメインバッテリー残量が少なくなるときに出力を制限させます。加速は悪くなりますが走行は可能です。また、出力制限が必要なくなると自動的に消灯します。



## メインバッテリー定期点検灯

3年経過、または30,000 km 走行で点灯

2回目以降は1年経過、または10,000km 走行で点灯

- ▶ 定期点検のお知らせです。Honda 二輪 EV 取扱店で点検を行ってください。 ➡ P.44



## 充電プラグ点検灯

充電プラグの交換時期に点灯

- ▶ お車の充電口と、お使いの充電器の充電プラグの交換時期をお知らせします。Honda 二輪 EV 取扱店で点検・交換を行ってください。点検・交換には、お車とお使いの充電器をお持ちください。

# スイッチ





ホーンスイッチ

ウィンカー（方向指示器）スイッチ

▶ 解除はスイッチを押して行ないます。

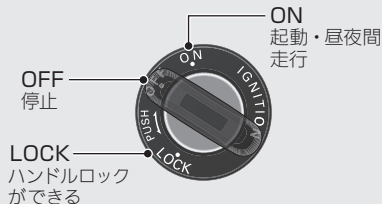
ヘッドライト（前照灯）上下切換スイッチ

-  (HI): ヘッドライトが上向き
-  (LO): ヘッドライトが下向き

メインスイッチ

電気回路の ON/OFF、ハンドルロックに使用

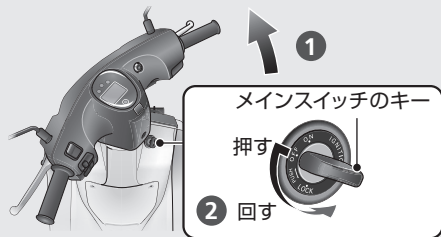
▶ OFF または LOCK の位置で、キーを抜くことができます。





## ハンドルロック

盗難予防のため、駐車するときは必ずハンドルロックをかけましょう。U 字ロックなどの使用も推奨します。



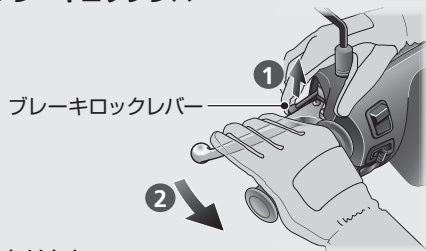
### かけかた

- 1 ハンドルを左にいっぱいにする。
- 2 キーを押し込みながら、LOCK の位置まで回す。  
▶ ロックがかかりにくい場合は、ハンドルを左右に軽く動かしてください。
- 3 キーを抜く。

### 外しかた

キーを押し込みながら、OFF の位置まで回す。

## ブレーキロックレバー



### かけかた

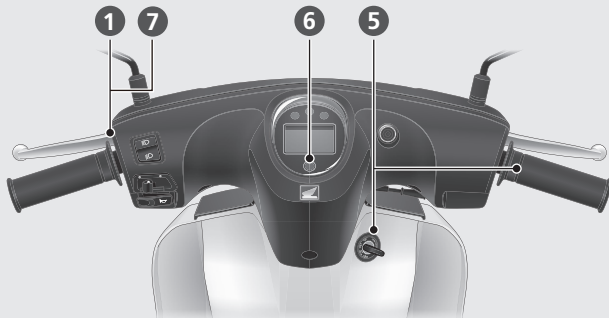
- 1 ブレーキロックレバーを矢印の方向に動かして保持する。
- 2 左ブレーキレバーをブレーキロックレバーに手ごたえがあるところまで握る。
- 3 ブレーキロックレバーをセットしたまま左ブレーキレバーを放せば、タイヤがロックする。  
▶ ブレーキの調整を適切にしないと、ロックされないことがあります。 ➡ P.54

### 外しかた

左ブレーキレバーを強く握ると自動的にブレーキロックレバーが外れる。

# 正しい運転操作

## スタートの手順



### アドバイス

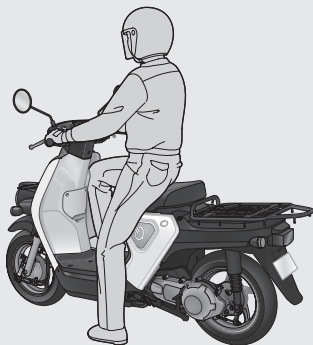
- 万一転倒した場合は、一旦メインスイッチをOFFにしてください。再度走行を行なう際は、各部の損傷状態や、走行に支障が無いかを十分に確認してください。

- 1 ブレーキロックレバーをかけ、タイヤをロックする。 ➡ P.19

- 2 ブレーキロックレバーが外れないように注意しながら、車を前にゆっくり押してメインスタンドを外す。
- 3 サイドスタンドが格納されていることを確認する。  
▶ サイドスタンドが出ている状態ではモーターが回転せず、スタートできません。

- 4 車の左側から乗車し、正しい乗車姿勢でシートにしっかりと腰をおろす。このとき足で車が倒れないように支える。

▶ シートに荷重がかかっていないとスタートできません。



## 警告

メインスイッチ ON 時、手をついたり荷物を置くなどしてシートに荷重をかけ、スロットルグリップを回すと、不意な飛び出しに繋がり、思わぬ事故の原因となるおそれがあります。

スロットルグリップの操作は正しい乗車姿勢で行ってください。

- 5 スロットルグリップを回さずに、メインスイッチを ON に回す。

▶ メーターの初期表示があらわれます。

➡ P.14

- 6 待機状態表示灯 **STAND BY** が点滅することを確認する。

▶ 待機状態表示灯が点滅しないとモーターは回転せず、スタートできません。

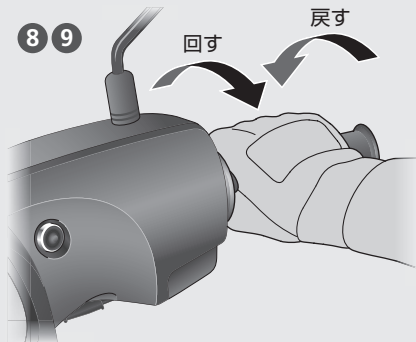
待機状態表示灯が点滅しないときは

➡ P.61

- 7 スロットルグリップを回さずに、ブレーキロックレバーを外す。 ➡ P.19

## 正しい運転の操作 前ページの続き

- ⑧ スロットルグリップをゆっくり回し、発進する。  
▶ 走り出し、速度が上がると待機状態表示灯は消灯します。
- ⑨ スロットルグリップで速度調整を行なう。  
加速する・・・スロットルをゆっくり回す。  
減速する・・・スロットルをすばやく戻す。



## ブレーキの使いかた



ブレーキは、右ブレーキレバーと左ブレーキレバーを同時に使いましょう。  
走行中は、ブレーキロックレバーを操作しないでください。

# メインバッテリーの充電

メインバッテリーの充電には、専用の普通充電器または急速充電器をご使用ください。

## 警告

充電が医療用電気機器の作動に影響をおよぼし、死亡または重大な傷害に至る可能性があります。

植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器などの医療用電気機器を使用している方は、充電による影響について、医師や医療用電気機器製造業者などに確認をしてから充電をしてください。

## 充電にあたっての禁止事項

次のような場所で充電しないでください。

- 可燃性ガスや引火物があるような場所
- ヒーターのそばや直射日光などで高温になる場所
- 雨や水のかかり易い場所
- 子供やペットがいたずらできる場所

充電器の取り扱いには次の点を守ってください。

- EV-neo/EV-neo PRO の充電以外の目的に使用しない
- 充電器本体、ケーブルやプラグに損傷や変形がある場合は充電しない
- 濡れた手で充電器やプラグに触れない
- トランクに入れたまま充電しない
- 正立状態で使用し、横倒しや逆さまにして充電しない
- 自動車の電源や発電機などから充電しない
- 満充電後に、同じ車を繰り返し充電しない
- 強い衝撃を与えない

- 水をかけたり、水没させない
- 分解や改造をしない
- いつもと違う臭いがしたり、煙が出ているときは、ただちに充電を中止する
- 充電器の上に座ったり、重いものを置かない
- 踏んだり重いものを置くなどしてケーブルを潰さない
- 充電口や充電プラグの端子に触れたり、針金などの金属を差し込まない
- ケーブルを丸めたまま充電しない
- プラグを抜くときは、ケーブルを引っ張って抜かない
- 落雷のおそれがある場合は充電しない
- プラグやコンセント、車の充電口にほこりや汚れが付いたまま充電しない
- 延長コードや分岐コンセントなどを使用して、他の電気機器と一緒に充電しない

点検や修理が必要な場合は、Honda 二輪 EV 取扱店にご相談ください。

## 警告

メインバッテリーの充電は高電圧を使用するため、不適当な扱いをすると、感電や発火などを起こす原因となり、死亡または重大な傷害に至る可能性があります。

メインバッテリーの充電は、取扱説明書に記載された方法・要領に従ってください。

## メインバッテリーの充電 前ページの続き

### 充電場所について

充電は次の場所で行ってください。

- 平坦で車両の安定する場所
- 風通しのよく、湿気のない場所

充電の使用可能気温：－10 ～ 40 ℃

### 使用電源について

#### 普通充電器

AC100 V コンセント：

JIS C 8303 2極接地極付コンセント

15 A 125 V



#### 急速充電器

AC200 V コンセント：

JIS C 8303 2極接地極付引掛型  
差込接続器コンセント

20 A 250 V



ご不明な点は、電気工事業者にご相談ください。

### 充電時間

メインバッテリーの残量ゼロから満充電にかかる充電時間の目安は次のとおりです。

普通充電器：約 3.5 時間

急速充電器：約 30 分間（約 20 分間で 80 %）

- ▶ 低温時は充電時間が長くなることがあります。

### 充電にあたっての注意

- 漏電遮断器に接続された、アース付コンセントで充電してください。
- AC プラグをコンセントに差し込むときは、必ず根元まで差し込んでください。
- メインバッテリーの温度が低いときに充電すると、充電量が少なくなります。
  - ▶ 寒い時期は走行後メインバッテリーが温まっている状態で充電することにより、充電量を戻すことができます。



- 充電は必ず満充電まで行ってください。満充電にしないと、バッテリー残量表示灯が正しく作動しない可能性があります。
- 充電中は、充電器の本体、プラグ、ケーブルが温かくなりますが、問題ありません。
- 充電中にラジオなどにノイズが入る場合があります。
- 充電中は充電器のファンが作動します。
- 停電時は充電が止まります。復帰後に再び充電の操作をしてください。

## 警告

漏電遮断器に接続されたアース付コンセントを使用しないと、漏電によって感電や火災を起こす原因となり、死亡または重大な傷害に至る可能性があります。

必ず漏電遮断器に接続されたアース付コンセントを使用してください。

## 充電器の取り扱いについて

### ■ お手入れについて

お手入れは固く絞った雑巾で行ってください。感電や破損のおそれがありますので、水洗いや高圧洗車機、洗剤、ケミカル類、油脂類の使用は避けてください。

### ■ 保管について

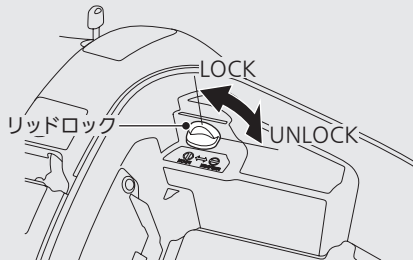
- 普通充電器はお車のトランクへ収納できます。 ➡ P.30
- 保管時はコンセントから AC プラグを外し、ケーブルを充電器に収納してください。
- 直射日光を避け、雨水のかからない場所で保管してください。
- 正立状態で保管し、積み重ねないでください。

### ■ 廃棄について

爆発のおそれがありますので、火中投下しないでください。廃棄を希望するときは、お近くの行政サービスへお問い合わせください。

## メインバッテリーの充電 前ページの続き

### 充電リッドの開閉



充電リッドの開閉は充電するときに行ないます。

LOCK: 充電リッドは開きません。

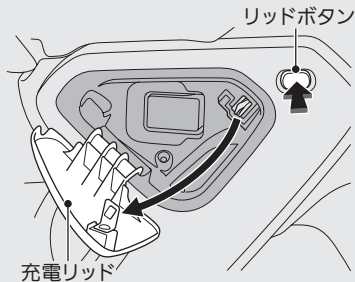
UNLOCK: 充電リッドが開きます。

▶ 通常は、リッドロックを LOCK にしてご使用ください。いたずらや走行中に不意に開けてしまうことを防ぎます。

#### 開けかた

- 1 シートを開ける。 ➡ P.51
- 2 リッドロックを UNLOCK へ回す。

- 3 リッドボタンを押して充電リッドを開ける。



#### 閉じかた

- 1 充電リッドを確実に閉める。
- 2 リッドロックを LOCK に回す。
- 3 シートを閉じる。 ➡ P.51

#### アドバイス

破損のおそれがありますので、リッドロックがLOCKの状態充電リッドを無理に開閉しないでください。

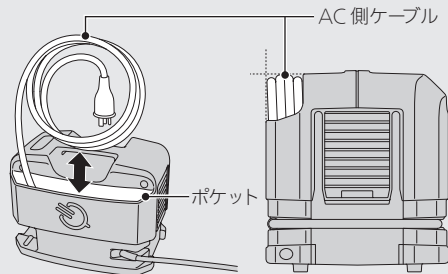
## 普通充電器による充電

### ■ ケーブルの取り出しと収納

#### 取り出し

- AC 側ケーブル：ポケットから取り出す
- ▶ ケーブルを束ねたり、丸めたまま充電しないでください。
- DC 側ケーブル：充電プラグをホルダーから外し、収納溝から取り出す

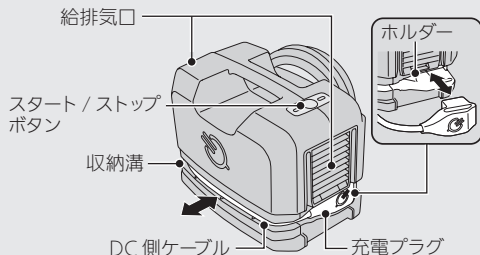
#### AC 側ケーブル



#### 収納

- AC 側ケーブル：下図のように丸め、充電器の上面と側面からはみ出さないようにポケットに入れる
- DC 側ケーブル：下図のように本体からはみ出さないように収納溝に沿って入れ、最後に充電プラグをホルダーにしっかりと差し込む
- ▶ 正しく収納されていないと破損するおそれがあります。

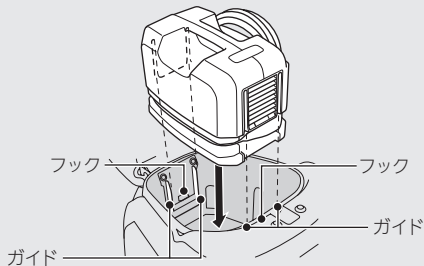
#### DC 側ケーブル



## メインバッテリーの充電 前ページの続き

### トランクに収納する場合

- 1 シートを開ける。 ➡ P.51
- 2 充電器をガイドに沿って、トランクに押し込んで収納する。



- ▶ 充電器のケーブルを正しく収納してください。 ➡ P.29
- ▶ 収納後、充電器を軽く持ち上げ、フックがかかっていることを確認してください。
- ▶ フックなどにケーブルが噛み込んでいないことを確認してください。

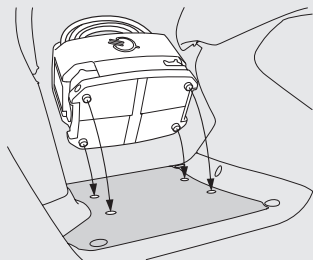
取り出しは、収納の逆の手順で行ないます。

### アドバイス

充電器と一緒に他の荷物を収納しないでください。

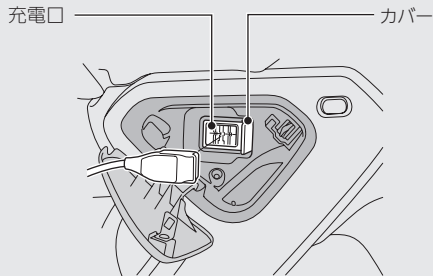
### 充電開始手順

- 1 メインスイッチを OFF にし、平坦地にメインスタンドを立てる。
- 2 普通充電器の底面の突起が車のフロアのくぼみに合うように置く。
  - ▶ 給排気口をふさがないように注意してください。

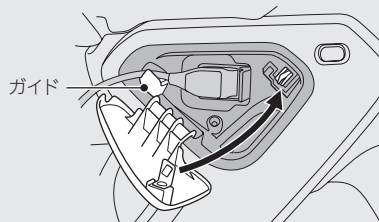


- 3 充電リッドを開ける。 ➡ P.28

- 4** カバーを開き、充電プラグを充電口の奥までしっかりと接続する。
- ▶ 充電プラグおよび充電口にほこりや汚れが付いている場合は、接続前に取り除いてください。
  - ▶ 充電プラグが奥までしっかりと接続されていないと、充電できない場合があります。

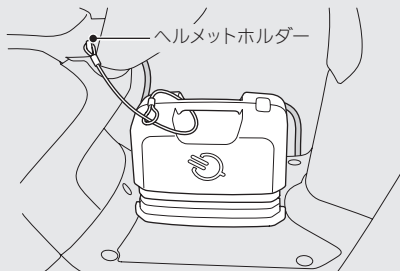


- 5** ケーブルをガイドに通し、充電リッドを閉じる。
- ▶ ケーブルを充電リッドで挟まないために、確実にガイドに通してください。
  - ▶ いたずら防止のため、充電リッドのリッドロックを LOCK にしてください。 ➡ P.28



## メインバッテリーの充電 前ページの続き

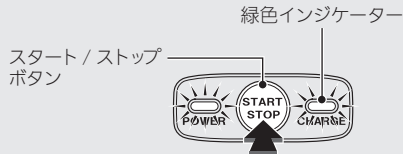
- 6 盗難防止のため、付属のワイヤーを充電器に通し、シートを開けてヘルメットホルダーに掛け、シートを閉じる。 ➡ P.51



- 7 AC プラグをアース付き AC100 V コンセントに差し込む。  
▶ 充電器の赤色インジケータ（POWER）が点灯します。



- 8 スタート / ストップボタンを押す。  
▶ 充電が開始されると、充電器の緑色インジケータ（CHARGE）が点灯します。

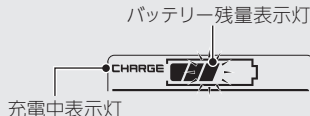


- ▶ 充電中にメインスイッチを ON にすると充電が停止します。再度充電するには、改めて充電を開始してください。 ➡ P.30

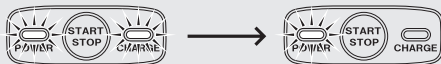
充電状態は車のメーターで確認できます。

- ▶ 充電中表示灯が点灯し、充電された容量に応じてバッテリー残量表示灯が点滅します。

➡ P.15



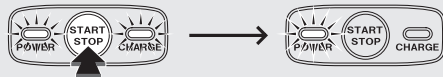
充電が完了すると自動的に車のメーターの表示が消えます。また、充電器の緑色インジケーターも消灯します。



- ▶ メインスイッチを ON にすると、バッテリー残量表示灯で容量を確認できます。満充電になっていない場合は再度充電してください。 ➡ P.30
- ▶ メインバッテリーが低温のときは、バッテリー残量表示灯のマークが 5 つにならないことがあります。

## 充電を中止する場合

- 1 緑色インジケーターが点灯していることを確認し、スタート / ストップボタンを押す。
  - ▶ 緑色インジケーターが消灯し、充電が中止されます。
  - ▶ 充電中に AC プラグや充電プラグを抜かないでください。



- 2 充電終了手順を行なってください。

## 充電終了手順

- 1 緑色インジケーターが消灯していることを確認し AC プラグをコンセントから抜く。
- 2 充電リッドを開ける。 ➡ P.28
- 3 充電プラグを抜き、ケーブルをガイドから外し、カバーを閉めてから充電リッドを閉じる。
  - ▶ ケーブルを正しく収納してください。

➡ P.29

## メインバッテリーの充電 前ページの続き

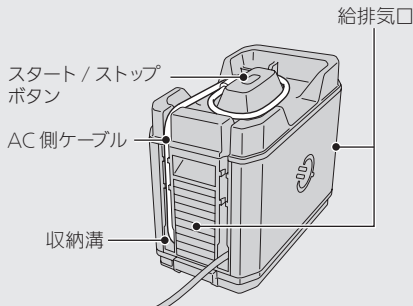
### 急速充電器による充電

#### ケーブルの取り出しと収納

##### 取り出し

- AC 側ケーブル：収納溝から取り出す
  - DC 側ケーブル：充電プラグをホルダーから外し、収納溝から取り出す
- ▶ ケーブルを束ねたり、丸めたまま充電しないでください。

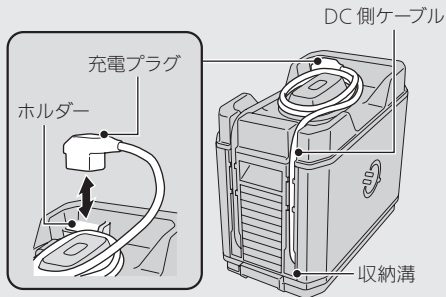
#### AC 側ケーブル



##### 収納

- AC 側ケーブル：収納溝に沿って充電器の上面まで通し、下図のように収納する
  - DC 側ケーブル：収納溝に沿って充電器の上面まで通し、下図のように収納する。最後に充電プラグをホルダーに入れる
- ▶ 破損防止のため、ケーブルやプラグを収納しないまま放置しないでください。

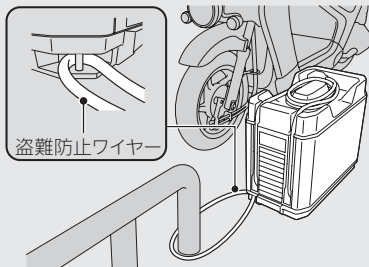
#### DC 側ケーブル





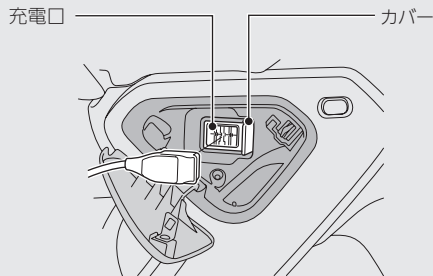
## 充電開始手順

- 1 メインスイッチを OFF にし、平坦地にメインスタンドを立てる。
- 2 急速充電器を平坦地に正立状態で置く。
  - ▶ 給排気口を壁から 30 mm 以上離してください。
  - ▶ 給排気口をふさがないように注意してください。
  - ▶ 盗難防止のため、市販の盗難防止ワイヤーのご使用をお勧めします。



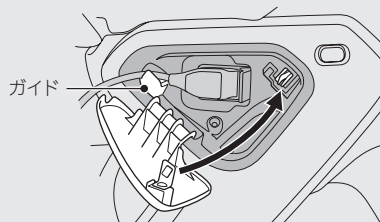
- 3 充電リッドを開ける。 ➡ P.28

- 4 カバーを開き、充電プラグを充電口の奥までしっかりと接続する。
  - ▶ 充電プラグおよび充電口にほこりや汚れが付いている場合は接続前に取り除いてください。
  - ▶ 充電プラグが奥までしっかりと接続されていないと充電できない場合があります。

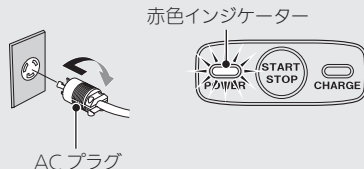


## メインバッテリーの充電 前ページの続き

- 5** ケーブルをガイドに通し、充電リッドを閉じる。
- ▶ ケーブルを充電リッドで挟まないために、確実にガイドに通してください。
  - ▶ いたずら防止のため、充電リッドのリッドロックを LOCK にしてください。 ➡ P.28

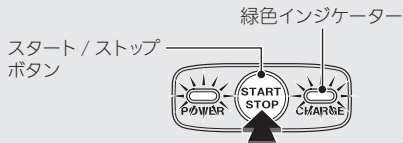


- 6** AC プラグをアース付き AC200 V コンセントに差し込む。
- ▶ AC プラグ抜け防止のため、コンセントに差し込んだあとに時計周りに回してロックしてください。
  - ▶ 充電器の赤色インジケータ（POWER）が点灯します。



# 7 スタート / ストップボタンを押す。

- ▶ 充電が開始されると、充電器の緑色インジケータ（CHARGE）が点灯します。

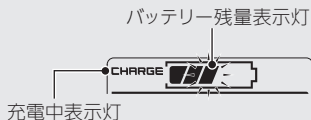


- ▶ 充電中にメインスイッチを ON にすると充電が停止します。再度充電するには、改めて充電を開始してください。 ➡ P.35

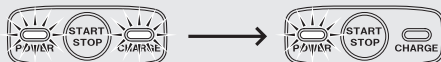
充電状態は車のメーターで確認できます。

- ▶ 充電中表示灯が点灯し、充電された容量に応じてバッテリー残量表示灯が点滅します。

➡ P.15



充電が完了すると自動的に車のメーターの表示が消えます。また、充電器の緑色インジケータも消灯します。

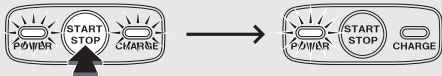


- ▶ メインスイッチを ON にすると、バッテリー残量表示灯で容量を確認できます。満充電になっていない場合は再度充電してください。 ➡ P.35
- ▶ メインバッテリーが低温のときは、バッテリー残量表示灯のマークが 5 つにならないことがあります。

## メインバッテリーの充電 前ページの続き

### 充電を中止する場合

- 1 緑色インジケーターが点灯していることを確認し、スタート/ストップボタンを押す。
  - ▶ 緑色インジケーターが消灯し、充電が中止されます。
  - ▶ 充電中に AC プラグや充電プラグを抜かないでください。



- 2 充電終了手順を行ってください。

### 充電終了手順

- 1 緑色インジケーターが消灯していることを確認する。AC プラグを反時計周りに回してロックを解除し、コンセントから抜く。
- 2 充電リッドを開ける。 ➡ P.28
- 3 充電プラグを抜き、ケーブルをガイドから外し、カバーを閉めてから充電リッドを閉じる。
  - ▶ ケーブルを正しく収納してください。

➡ P.34

### こんなときは（普通充電器、急速充電器）

- 1 充電プラグ点検灯  が点灯した場合

➡ P.17

- 1 赤色インジケーターが点滅した場合

➡ P.62

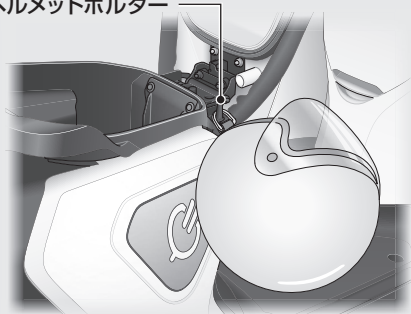


- 1 充電ができない場合 ➡ P.62

# その他装備の使いかた

シート下にヘルメットホルダーとトランクがあります。書類入れはトランクにあります。  
トランクには普通充電器を収納することができます。 ➡ P.30

## ヘルメットホルダー



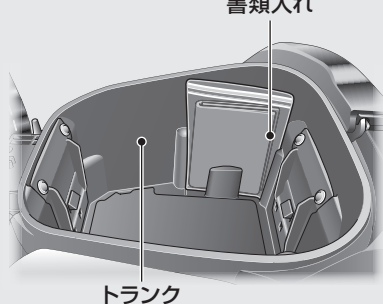
▶ ヘルメットホルダーは駐車時のみお使いください。

## シートの開けかた ➡ P.51

### アドバイス

トランク内に貴重品やこわれやすいものは入れないでください。

## 書類入れ



## ⚠ 警告

ヘルメットホルダーにヘルメットをつけたまま走行しないでください。

走行の妨げになり、重傷を負ったり死亡したりする事故が発生することがあります。

# メンテナンス

メンテナンスを行なう前に必ず「メンテナンスの基礎知識」をお読みください。  
また、サービスデータについては「スペック」を参照ください。

メンテナンスの基礎知識.....	P.41
主要部品の操作・脱着方法.....	P.50
クリップ .....	P.50
シート .....	P.51
サブ (12 V) バッテリー .....	P.52
トランスミッションオイル .....	P.53
ブレーキ .....	P.54
スロットル .....	P.59

## メンテナンスの基礎知識

### メンテナンスの重要性

お車をご使用の方の安全と車を快適にご使用いただくために、日常のお車の使用状況に応じて、お客様の判断で適時行っていただく日常点検と、1年ごと（12か月ごと）、2年ごと（24か月ごと）の定期点検整備を設けてあります。安全快適にお乗りいただくために、必ず実施してください。

### 警告

誤った点検整備や、不適当な整備、未修理は、転倒事故などを起こす原因となり、死亡または重大な傷害に至る可能性があります。

- 点検整備は、取扱説明書・メンテナンスノートに記載された点検方法・要領を守り、必ず実施してください。
- 異状箇所は乗車前に修理してください。

### 安全なメンテナンスのために

メンテナンスにあたっては、次のことに注意してください。

- メインスイッチを OFF にし、キーを抜いた状態で  
行なう
- 平坦地で足場のしっかりとした場所で行なう
- モーター周辺、ブレーキなど高温になる部分はヤ  
ケドのおそれがあるので、冷えるまで触れない
- 充電器を車に接続した状態で行なわない

### 日常点検

安全快適にご使用いただくために法令に準じ、日常のお車の使用状況に応じて、お客様の判断で適時行なう点検です。

点検時期の目安としては、長距離走行や洗車時、充電終了時などに実施し、その結果をメンテナンスレコードに記入してください。

異音や異状を感じたときは、ただちに Honda 二輪 EV 取扱店にご相談ください。

## Ⅰ 日常点検項目

この車には下記の日常点検項目が適用されます。

### ● ブレーキ

- レバーの遊び（機械式）
- ブレーキの効き具合

### ● タイヤ

- 空気圧
- 亀裂、損傷
- 異状な摩耗
- 溝の深さ

### ● 灯火装置および方向指示器

### ● 運行において異状が認められた箇所

## 定期点検

安全快適にお車をご使用いただくために、定期点検を必ず実施してください。

また、これらの他にも使いはじめてから1か月目（または、1,000 km 時）に行なう点検、Honda が指定する点検整備項目もあります。

## Ⅰ 道路運送車両法に準じて設けられた点検

道路運送車両法に準じて設けられた点検には、以下の種類があります。

### ● 日常点検

- 1年ごと（12 か月ごと）に行なう点検
- 2年ごと（24 か月ごと）に行なう点検



## Ⅰ ご自身で点検を実施する場合

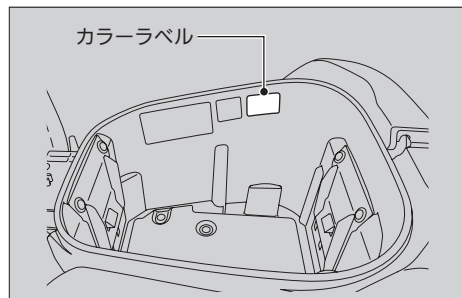
安全のため、ご自分の知識と技量に合わせた範囲内で行ってください。難しいと思われる内容については、Honda 二輪 EV 取扱店にご相談ください。点検結果は、メンテナンスノートの定期点検整備記録簿に記入し、大切に保存、携行してください。

## Ⅰ 1 か月目点検について

新車から1か月目（または、1,000 km 時）は、特に初期の点検整備が車の寿命に影響することを重視し、点検を無料でお取り扱いいたします。お買いあげのHonda 二輪 EV 取扱店で行ってください。他の二輪 EV 取扱店にてお受けになると有料となる場合があります。また、オイル代、消耗部品代および交換工賃などは実費をいただきます。詳細については、メンテナンスノートをご覧ください。

## Ⅰ 交換部品について

整備の際は、Honda 純正部品を使用してください。色物部品をご注文のときは、カラーラベルに記載されているモデル名、カラーおよびコードをお知らせください。カラーラベルは、シートを開けると確認できます。▶P.51




## ⚠ 警告

Honda 純正部品以外の部品の使用や、不正な改造は思わぬ事故の原因となり、重傷を負ったり、死亡したりすることがあります。

Honda 純正部品を使用してください。

## メインバッテリー

メインバッテリーは長期間使用していると、少しずつ容量が低下します。容量が低下したメインバッテリーでは、バッテリー残量表示灯のマークが2つ以上点灯していても、急にマーク1つの点滅に切り替わりと共に、出力制限状態表示灯  が点灯することがあります。



快適にご使用いただくために、使いはじめてから3年または、30,000 km（2回目以降は1年経過、または10,000 km）走行時に Honda 二輪 EV 取扱店で定期点検を受けてください。点検時期は、メインバッテリー定期点検灯 **BATT CHECK** でお知らせします。

- ▶ 点検の結果によっては、バッテリー残量表示灯を正確にするために補正を行ないますが、新車でお使いはじめての頃と比較すると、走行距離が短くなることがあります。

## サブ（12 V）バッテリー

この車は、メンテナンスフリータイプのサブ（12 V）バッテリーを使用しており、バッテリー液の点検、補給は必要ありません。サブ（12 V）バッテリーのターミナル部に汚れや腐食がある場合のみ清掃してください。

また、密閉式の液口キャップは絶対に取り外さないでください。サブ（12 V）バッテリー充電時も液口キャップを取り外す必要はありません。

サブ（12 V）バッテリーのターミナルを外してから再び取り付けたときは、メインバッテリーを満充電にしてください。

### アドバイス

サブ（12 V）バッテリーには寿命があります。また、性能低下時には車が起動しないことがあります。充電・交換時期については、Honda 二輪 EV 取扱店にご相談ください。交換する場合は、必ず同型式のメンテナンスフリーバッテリーを使用してください。

## ！ 万一の場合の応急処置

以下のようなときは、応急処置したあと、ただちに医師の診察を受けてください。

- 電解液が眼に付着したとき
  - ▶ コップなどに入れた水で、15 分以上洗浄してください。加圧された水での洗浄は、眼を痛めるおそれがあります。
- 電解液が皮膚に付着したとき
  - ▶ 電解液のついた服を脱ぎ、皮膚を多量の水で洗浄してください。
- 電解液を飲み込んだとき
  - ▶ 水、または牛乳を飲んでください。

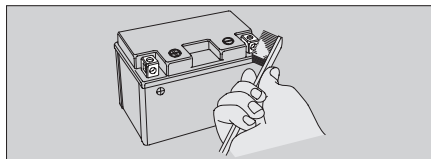
## ⚠ 警告

サブ (12 V) バッテリーから発生する可燃性ガスは引火すると爆発するおそれがあります。また、希硫酸が使用されており、眼や皮膚に付着すると重いヤケドを負います。

- ・ サブ (12 V) バッテリーの近くで作業するときは、保護メガネと保護服を着用
- ・ サブ (12 V) バッテリーを、子供の手の届く所に置かない
- ・ ショートによる火花やたばこなどの火気に十分注意する

## 1 ターミナル部の清掃

1. サブ (12 V) バッテリーを取り外す。➡P.52
2. ターミナル部が腐食して白い粉が付いている場合は、ぬるま湯を注いで拭く。
3. ターミナル部の腐食が著しいときは、ワイヤーブラシまたはサンドペーパーで磨く。



4. 清掃後、サブ (12 V) バッテリーを取り付ける。  
➡P.52

電装部品やアクセサリを取り付けるときは純正アクセサリをご使用ください。それ以外のものを使用するとバッテリーあがりや故障の原因となります。

## ヒューズ

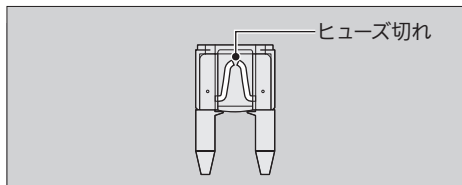
この車の電気回路は、ヒューズで保護されています。灯火器などの電装部品が動作しないときは、ヒューズを調べ、必要に応じて交換してください。➡P.65

## Ⅰ ヒューズの点検・交換

メインスイッチを切り、ヒューズを取り外して点検します。切れている場合は、指定されている容量のヒューズと交換してください。

ヒューズの容量はスペックページをご確認ください。

➡P.76



### アドバイス

指定容量を超えるヒューズを使用すると、配線の過熱・焼損の原因になるので絶対に使用しないでください。

交換してもすぐにヒューズが切れる場合は、ヒューズの劣化以外の原因が考えられます。Honda 二輪 EV 取扱店にご相談ください。

## トランスミッションオイル

### Ⅰ トランスミッションオイルの選びかた

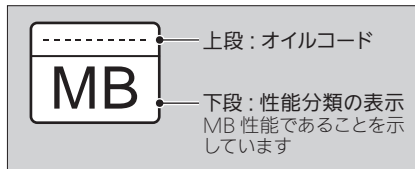
推奨トランスミッションオイル：

Honda 純正 ウルトラ E1

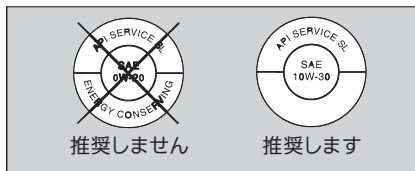
相当品をご使用の場合は、オイル容器の表示を確認し、下記の全ての規格を満たしているオイルをお選びください。全ての規格を満たしている場合でも特性が異なりこの車に適合しない場合があります。

- JASO T 903 規格※1：MB
- SAE 規格※2：10W-30
- API 分類※3：SG・SH・SJ・SL 級相当

- ※1: JASO T 903 規格は、二輪車用4サイクルエンジンオイルの性能を分類する規格です。適合し届け出されたオイルの容器には、次の表示があります。



- ※2: SAE 規格は、オイルの粘度を定めた規格です。  
 ※3: API 分類は、エンジンオイルのグレードに関する分類です。API マークの入っている相当品を使用する場合、下記のものをご使用ください。



## タイヤ

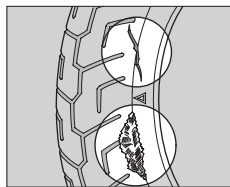
### Ⅰ 空気圧の点検

タイヤの空気圧は徐々に低下します。また、タイヤによっては空気圧不足が見た目ではわかりづらいため、少なくとも1か月ごとにタイヤゲージを使用して空気圧を点検してください。

タイヤは、走行後は温まり空気圧が高くなることがありますので、必ず冷えた状態で点検してください。

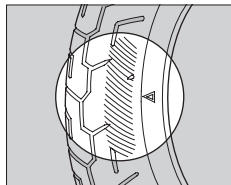
### Ⅱ 亀裂と損傷の点検

タイヤの全周に、亀裂や損傷、ひび割れおよび釘、石、その他の異物が刺さったり、かみ込んだりしていないかを点検します。道路の縁石などにタイヤ側面を接触させたり、大きな凹みや突起物を乗り越えたときは、必ず点検してください。



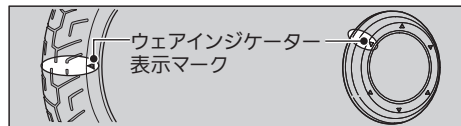
## Ⅰ 異状な摩耗の点検

タイヤの接地面が異状に摩耗していないかを点検します。



## Ⅱ 溝の深さの点検

ウェアインジケーター（スリップサイン）により溝の深さを確認します。サインが現れたときは、ただちに交換してください。また、安全走行のため、トレッド中央部の溝の深さが最小残溝量になったときは交換してください。



## ⚠ 警告

過度にすり減ったタイヤの使用や、不適正な空気圧での運転は、転倒事故などを起こす原因となり、死亡または重大な傷害に至る可能性があります。

取扱説明書に記載されたタイヤの空気圧を守り、規定の数値を超えてすり減ったタイヤは交換してください。

タイヤを交換するときは、必ず指定タイヤを使用してください。指定以外のタイヤは、操縦性や走行安定性に悪影響を与えることがありますので使用しないでください。

タイヤの交換は、Honda 二輪 EV 取扱店にご相談ください。

指定タイヤ、空気圧、最小残溝量（溝の深さ）はスペックページをご確認ください。➡P.75

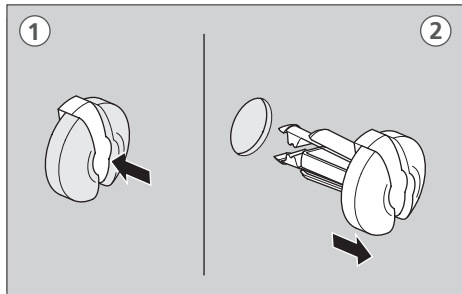
### 警告

指定以外のタイヤを取り付けると、操縦性や走行安定性に悪影響を与えることがあります。また、そのことが原因で転倒事故などを起こし、死亡または重大な傷害に至る可能性があります。

タイヤ交換時には、必ず取扱説明書に記載された指定タイヤを取り付けてください。

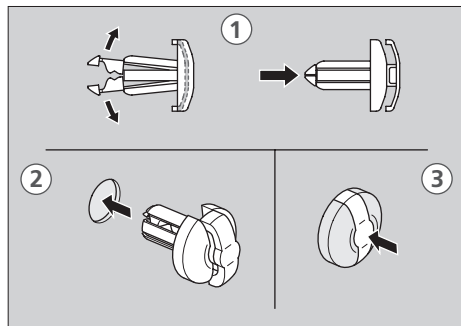
## クリップ

### Ⅰ取り外し



1. 中央部のピンを押し込んでロックを解除します。
2. クリップを引き抜きます。

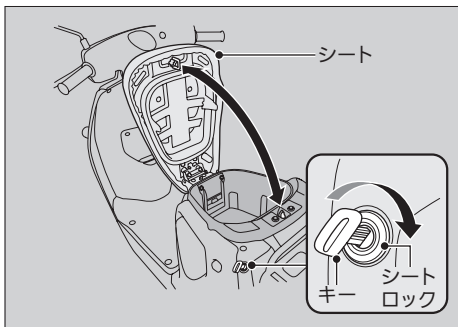
### Ⅱ取り付け



1. ピンの先端を軽く開きながら、ピンを押し戻して取り付け状態にします。
2. クリップを穴に差し込みます。
3. ピンを軽く押してロックします。



## シート



### ■ 開けかた

メインスイッチのキーをシートロックに差し込み、右に回してシートロックを解除し、シートを開けます。

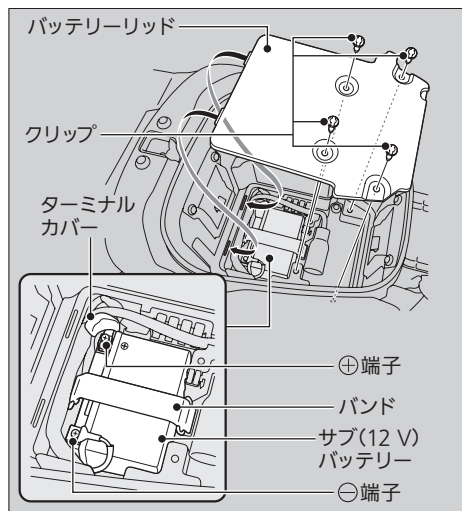
### ■ 閉じかた

シートをおろし、シート後部を上から押してロックします。

シートを軽く持ち上げて、ロックがかかっていることを確認してください。

メインスイッチのキーをシート下に置き忘れた状態でシートを下げると自動的にロックされ、キーを取り出せなくなりますのでご注意ください。

## サブ (12 V) バッテリー



サブ (12 V) バッテリーの取り扱いについてはメンテナンスの基礎知識をご確認ください。▶P.44

### ■取り外し

1. シートを開ける。▶P.51
2. クリップを取り外す。▶P.50
3. バッテリーリッド、バンドを取り外す。
4. ⊖端子のボルトを外し、⊖コードを外す。
5. ターミナルカバーをめくり、⊕端子のボルトを外し、⊕コードを外す。
6. 端子のナットを落とさないよう、サブ (12 V) バッテリーを取り出す。

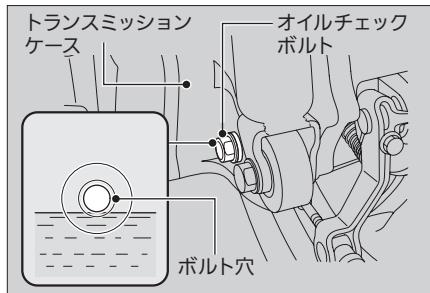
### ■取り付け

次の点に注意して、取り外しの逆の手順で取り付けます。

- バッテリーコードは、必ず先に⊕側より取り付ける
- ターミナル部にゆるみが生じないように、確実にボルトを締め付ける
- 必ずメインバッテリーを満充電にする▶P.24
  - ▶ 満充電にしないと、バッテリー残量表示灯が正確に表示されないおそれがあります。

## オイル量の点検

1. モーターが冷えている場合は、3～5分ほど走行する。
2. メインスイッチをOFFにし、足場のしっかりとした平坦地にメインスタンドを立て、2～3分間待つ。
3. オイルチェックボルトを外す。
4. オイルがボルト穴の下端まであることを油面の位置で確認する。
5. オイルチェックボルトを確実に取り付ける。



## オイルの補給

オイルの油面が低い場合は、推奨オイルをボルト穴の下端まで補給してください。

- 上限を超えて補給しない
- ゴミが入らないようにする
- オイルをこぼしたときは完全に拭き取る

### アドバイス

オイルは規定量より多くても少なくても、モーターやトランスミッションに悪影響を与えます。また銘柄やグレードの異なるオイルを混用しないでください。

推奨トランスミッションオイルやオイルの選びかたについてはメンテナンスの基礎知識をご確認ください。▶P.46

## オイル漏れの点検

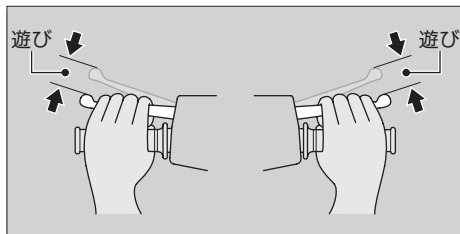
トランスミッションのケースなどから、オイルが漏れていないことを確認します。

## ブレーキの遊びの点検

抵抗を感じるまで、ブレーキレバーを引き、レバー先端の遊びの量が規定の範囲内にあることをスケールなどで確認します。

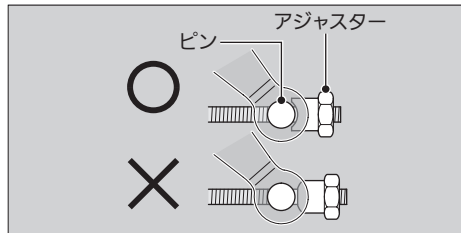
**ブレーキレバーの遊び: 10 ~ 20 mm**

規定の範囲を超えている場合は調整してください。



## ブレーキの遊びの調整

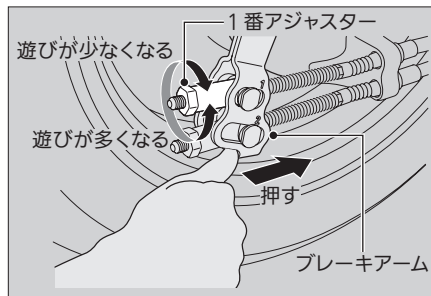
ブレーキの遊びはハンドルを直進状態にしてフロントブレーキ、リアブレーキの順に調整します。遊びの調整時は必ず、アジャスターの凹部をピンの凸部に一致させてください。



レバーの調整範囲を超えた場合や、詳しい遊びの調整については Honda 二輪 EV 取扱店にご相談ください。

1. フロントのブレーキアームを強く押しながら、1 番アジャスターを半回転ずつ回します。手で時計回り（遊びが少なくなる）に回せなくなるまで回してから、右ブレーキレバーの遊びを点検します。

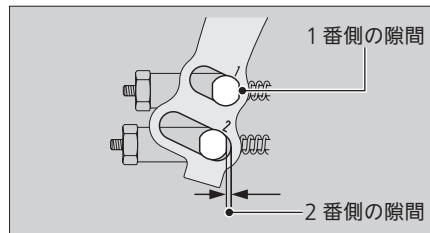
▶ 遊びが規定の範囲外だった場合、1 番アジャスターを回して調整してください。



2. フロントのブレーキアームを押さない状態で、ブレーキアームと 1 番側および 2 番側のピンの間が次の隙間になるように 2 番アジャスターを調整します。

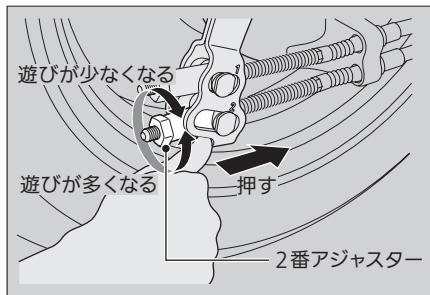
1 番側の隙間：ない

2 番側の隙間：1 mm 程度

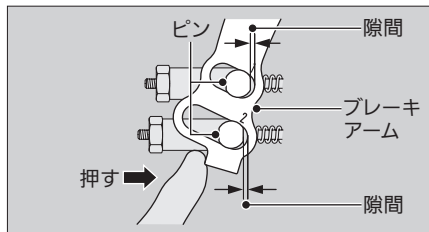


## ブレーキ ▶ ブレーキの遊びの調整

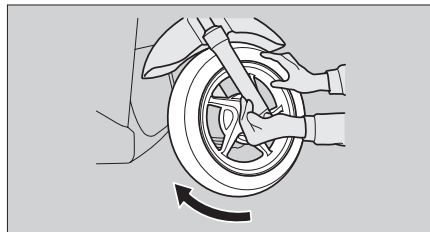
2番側の調整は、フロントのブレーキアームを強く押しながら、2番アジャスターを半回転ずつ回して行ないます。



3. フロントのブレーキアームを押し、ブレーキアームと1番側および2番側のピンの間に隙間があることを確認します。



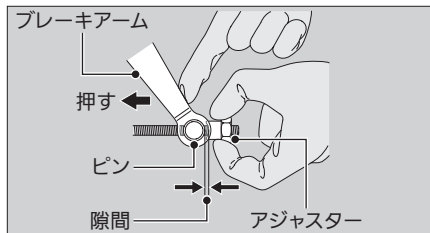
4. フロントのタイヤを回し、ブレーキの引きずりがなくことを確認します。



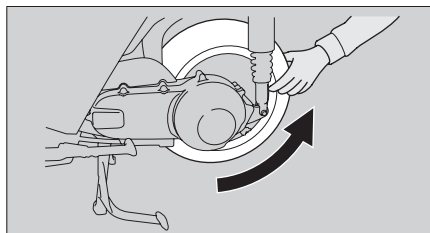
5. リアのアジャスターを半回転ずつ回し、左ブレーキレバーの遊びを調整します。



6. リアのブレーキアームを押し、アジャスターとピンの間に隙間があることを確認します。



7. リアのタイヤを回し、ブレーキの引きずりがないうことを確認します。

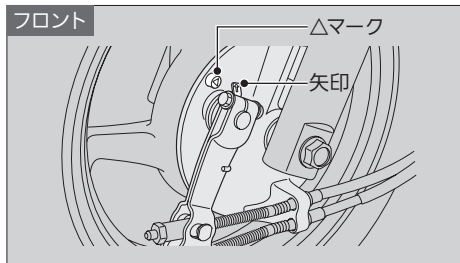


#### アドバイス

調整範囲を超えてアジャスターを回さないでください。

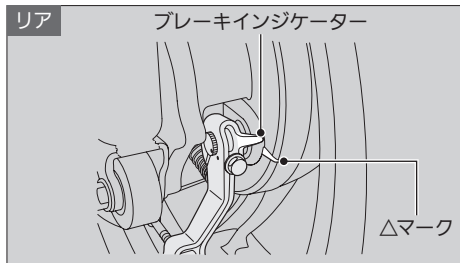
## ブレーキシューの摩耗の点検

フロント



リア

ブレーキインジケーター



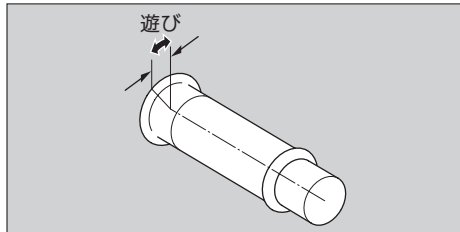
フロントは右ブレーキレバー、リアは左ブレーキレバーをいっぱい引いて、ブレーキインジケーターの矢印（フロント）またはブレーキインジケーターの先端（リア）とブレーキパネルの△マークが一致しないことを確認します。一致する場合は、ブレーキシューの使用限界ですので交換してください。ブレーキシューの交換は、Honda 二輪 EV 取扱店にご相談ください。



## スロットルの点検

メインスイッチを OFF にした状態でスロットルを作動させ、スムーズに動くかどうか、ハンドルを左右にきっても作動が重くないか、スロットルグリップの遊びが適正か点検します。異状を感じた場合やスロットルケーブル外表部に損傷があるときは Honda 二輪 EV 取扱店にご相談ください。

**スロットルグリップの遊び: 2～6 mm**





# こんなときは

走行できない.....	P.61
充電ができない.....	P.62
警告灯が点灯／点滅.....	P.64
システム警告灯 .....	P.64
速度警告灯 .....	P.64
電装部品のトラブル .....	P.65
ヒューズ切れ.....	P.65

## ■メインスイッチを ON にしてもメーターが表示されないとき


次の点を確認してください。

- ヒューズが切れていないか  P.45
- サブ (12 V) バッテリーターミナル部に緩みや腐食がないか  P.44

表示されない場合は、サブ (12 V) バッテリーがあがっている可能性があります。Honda 二輪 EV 取扱店でバッテリーの点検・交換を行ってください。

## ■待機状態表示灯 が点滅しないとき



次の点を確認してください。

- 充電プラグが車に繋がっていないか
- 正しい始動手順をしているか  P.20
- 荷物を詰め込みすぎたり、シートカバーなどがトランクとシートの間に挟まっていないか
  - ▶ シートが押し上げられると、待機状態表示灯が作動しない場合があります。

- サイドスタンドが格納されているか
- スロットルグリップが完全に閉じているか
- 前や後ろ寄りに座っていないか
  - ▶ 正しい姿勢でシートに座っていないと、待機状態表示灯が作動しない場合があります。


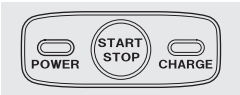
## ■モーターが回らないとき




次の点を確認してください。

- メインバッテリーに残量があるか  P.14
  - システム警告灯  が点滅していないか
    - ▶ 点滅している場合は、ただちに Honda 二輪 EV 取扱店にご相談ください。
- これらに該当しない場合や異状がある場合は、Honda 二輪 EV 取扱店にご相談ください。

# 充電ができない

次の点を確認してください。該当しない場合や処置をしても症状が改善されない場合は、Honda 二輪 EV 取扱店にご相談ください。

こんなときは	点検・確認項目
<p data-bbox="117 277 358 348">赤色インジケーター (POWER) が点滅</p> 	<ul style="list-style-type: none"><li>● 充電器の給排気口をふさいでいませんか。 ▶ <b>普通充電器</b> P.29 ▶ <b>急速充電器</b> P.34</li><li>● 直射日光が当たっているなど、高温の場所で充電していませんか。 ▶ 推奨する場所で充電を行ってください。▶ P.26</li></ul>
<p data-bbox="117 557 442 588">赤色インジケーターが消灯</p> 	<ul style="list-style-type: none"><li>● AC プラグがしっかりとコンセントに差し込まれていますか。</li><li>● 停電していませんか。</li><li>● ブレーカーが落ちていませんか。</li><li>● 漏電遮断器が落ちていませんか。</li><li>● AC ケーブルが断線していたり、AC プラグが破損していませんか。 ▶ 断線や破損を発見した場合、Honda 二輪 EV 取扱店で修理を行ってください。</li><li>● DC/AC インバーターや発電機から充電していませんか。 ▶ 使用を中止し、指定する充電環境で行ってください。▶ P.24</li></ul>

こんなときは	点検・確認項目
<p>赤色インジケータが点灯</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>● メインスイッチが ON になっていませんか。 ▶ メインスイッチが ON のときは充電されません。</li> <li>● 充電プラグが奥までしっかりと充電口に接続されていますか。  <b>▶普通充電器 P.31 ▶急速充電器 P.35</b> </li> <li>● 停電復旧後に再度充電開始作業を行ないましたか。 ▶ 停電が復旧しても、自動的に充電は再開されません。</li> <li>● メインスイッチを ON にしたときに、システム警告灯  が点滅していませんか。 <b>▶P.16</b> ▶ 点滅している場合は、Honda 二輪 EV 取扱店で修理を行ってください。</li> <li>● メインスイッチを ON にしたときに、充電プラグ点検灯  が点灯していませんか。 <b>▶P.17</b> ▶ 点灯している場合は、Honda 二輪 EV 取扱店で点検を行ってください。</li> </ul>

### システム警告灯

---

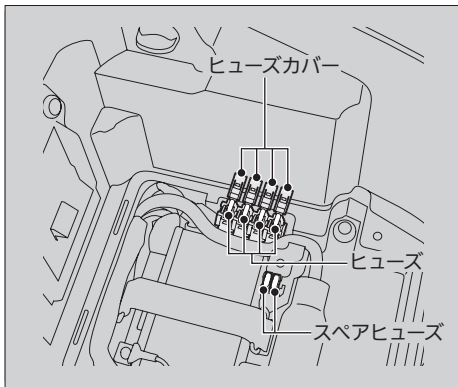
メインスイッチ ON 中に点灯・点滅した場合は何らかの異状が考えられます。ただちに Honda 二輪 EV 取扱店にご相談ください。

### 速度警告灯

---

車の速度が法定最高速度（30 km/h）を超えると点滅し、運転者に注意をうながします。

## ヒューズ切れ



1. シートを開ける。➡P.51
2. バッテリーリッドを取り外す。➡P.52
3. ヒューズカバーを開け、ヒューズが切れている場合は同じ容量のスペアヒューズと交換し、ヒューズカバーを閉じる。
4. バッテリーリッドを取り付ける。➡P.52
5. シートを閉じる。➡P.51

ヒューズの取り扱いについてはメンテナンスの基礎知識をご確認ください。➡P.45

# インフォメーション

メインバッテリーについて .....	P.67
装備に関する補足情報.....	P.68
車のお手入れ.....	P.69
保管のしかた.....	P.71
廃棄するとき.....	P.72
フレームおよびモーターナンバー .....	P.74



## メインバッテリーについて

この車のメインバッテリーは、リチウムイオンバッテリーを使用しています。リチウムイオンバッテリーは、鉛バッテリー、ニカドバッテリー、ニッケル水素バッテリーにくらべ、エネルギー密度が高く、車を小型軽量にできます。また寿命が長いため、長期間使用できます。

このバッテリーには、次のような特性があります。

- 使用年月や使用条件により、少しずつ放電性能が低下していく
- バッテリーの温度が低いときには、走行距離が短くなる
  - ▶ 一時的なものですので、バッテリーの温度が常温に戻れば走行距離も戻ります。
- バッテリーの温度が低いときには、放電性能が低下する
  - ▶ バッテリーを保護するため、車の出力が制限されます。バッテリーの温度が常温に戻れば出力制限が解除されます。

- 使用していないときも、バッテリーは少しずつ放電する
  - ▶ 充電すると容量が元に戻ります。

## 装備に関する補足情報

### ■ メインスイッチ

この車はメインスイッチを ON にすると、ヘッドライトが常時点灯します。走行しないときは OFF にしてください。ON の状態にしておくともバッテリーあがりの原因となります。

走行中はメインスイッチのキーを操作しないでください。

キーに金属製のキーホルダーを使用するとメインスイッチ周辺に傷がつくおそれがあります。

### ■ オートパワーセーブシステム

この車は、メインバッテリー保護のため、メインスイッチが ON のまま約 3 分以上シートに荷重がかかっていないと、バッテリーからの電気を遮断するシステムが装備されています。再起動するときは、システムの作動を解除するために、メインスイッチを一度 OFF にしてください。

- ▶ シートに荷重がかかっていない状態でもスロットルを操作した場合、電気は遮断されません。

### ■ オドメーター

オドメーターは、999,999 km を超えると 999,999 km でロックします。

### ■ 書類入れ

取扱説明書、登録書類、保険証、メンテナンスノートなどは書類入れに入れ、トランクに収納してください。

### ■ モータードライブカットオフシステム

この車は、転倒したとき、自動的にモーターを停止するシステムが装備されています。起動するときは、システムの作動を解除するためにメインスイッチを一度 OFF にしてください。

### ■ 回生充電

走行中の運動エネルギーを電気エネルギーに変換し、メインバッテリーに充電します。回生充電中にメインバッテリーが満充電になると、過充電保護制御が働き、モーター音が大きくなる場合がありますが問題ありません。

## 車のお手入れ

お車を長持ちさせるため、清掃などのお手入れは大切です。普段見逃しがちな異状の発見にも繋がります。また、海水や路面凍結防止剤などに含まれる塩分は、車体のサビを促進します。海岸付近や凍結防止剤を散布した路面を走行したあとは、必ず洗車してください。

### 洗車

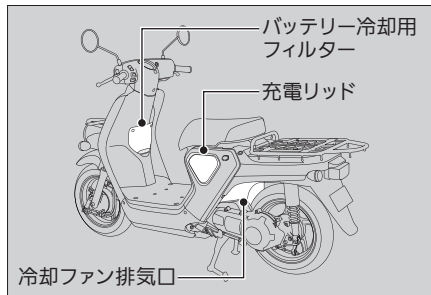
モーター周辺、ブレーキなど高温になる部分は冷えるまで洗車しないでください。

1. 全体を水洗いして、汚れを取り除く。
2. 汚れがひどいときは、薄めた中性洗剤を使用し、スポンジか柔らかいタオルを使って洗う。
  - ▶ 傷を防ぐため、多量の水を使って、汚れを落としてください。
3. 十分な水で洗剤を洗い流し柔らかい布で拭きあげる。
4. 車体を乾燥させたあと、可動部分に注油する。
5. 車体の腐食を防ぐためワックスがけを行なう。

### ■ 洗車にあたっての注意

洗車するときは、次のことをお守りください。

- 高圧洗車機の使用は避ける
  - ▶ 車体に高い水圧がかかる洗車を行なうと、可動部や電装部品などの作動不良や故障の原因となることがあります。
  - ▶ ヘッドライトレンズや、その他のプラスチック部品を洗うときは、傷を防ぐため、多量の水を使って、汚れを落としてください。
- バッテリー冷却用のフィルター部分、充電リッド、冷却ファン排気口へ水を入れない
  - ▶ 起動不良や故障の原因になります。



- シートの下方から水を強くかけない
  - ▶ 内部に水が入り、書類などが濡れることがあります。
- ブレーキを濡れたままにしない
  - ▶ 水によってブレーキの効き具合が悪くなることがあります。洗車後は十分に乾かし、慎重なブレーキ操作を心がけてください。
- ワックス、ケミカル類や油脂類を扱うとき
  - ▶ ブレーキやタイヤにオイルなどの油脂類、ワックスやケミカル類が付着しないよう注意してください。ブレーキが効かなくなり、事故の原因になる場合があります。
  - ▶ ワックスやケミカル類を使用するときは、ボディーが目立たないところでくもりや傷、色むらなどが生じないか確認してください。種類によっては塗膜が薄くなったり色むらが生じるものがあります。
  - ▶ つや消し塗装が使われている場合は、塗装面にワックスやケミカル類を使用すると、つや消し感が無くなったり、色むらが生じるおそれがありますので、使用しないでください。

- ヘッドライトがくもったとき
  - ▶ ヘッドライトを点灯すると、くもりは徐々に消えていきます。

### アルミ部品

アルミ部品は土や泥、あるいは塩分によって腐食します。傷をつけないよう、取り扱いについては次のことに注意してください。

- 硬いブラシやスチールウールを使用しない
- アルミホイールはすり当てを避け、縁石などに乗り上げる際は変形に注意する

## 保管のしかた

屋外に保管する場合はボディーカバーをかけてください。なお、ボディーカバーはモーター周辺が冷えてからかけてください。

また、長期間ご使用にならない場合は、次のことをお守りください。

- メインバッテリーの劣化を防ぐために、バッテリー残量表示灯のマークを3つにし、涼しい場所で保管する



推奨気温: 0 ~ 25 °C

- ▶ 保管中にマークが1つになったら、マークを3つまで充電してください。

### アドバイス

- マークが1つの状態で長期間保管すると、メインバッテリーの故障の原因となるおそれがありますので、おやめください。
  - 満充電にして保管すると、かえって劣化が進んでしまう場合がありますので、おやめください。
  - サビを防ぐために、保管前にワックスがけを行なう（つや消し塗装面を除く）
  - 雨上がりにはボディーカバーを外し、車体を乾燥させる
  - サブ（12 V）バッテリーは自己放電と電気漏れを少なくするため、車から取り外し、完全充電して風通しのよい暗い場所に保管する
    - ▶ もしサブ（12 V）バッテリーを車に積んだままにする場合は、⊖側ターミナルを外してください。
- 長期保管後にお車に乗る際は、メインバッテリーを満充電まで充電し、保管期間を考慮したうえで、各部の点検を実施してください。

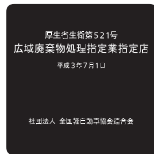
## 廃棄するとき

地球環境を守るため、お車や交換した部品、なかでも使用済みのバッテリーやタイヤ、トランスミッションオイルの廃油などはむやみに捨てないでください。これらのものを廃棄する場合は、Honda 二輪 EV 取扱店にご相談ください。

また、将来お車の廃棄を希望するときもお近くの Honda 二輪 EV 取扱店へご相談ください。

### 廃棄二輪車取扱店とは

(社) 全国軽自動車協会連合会の登録販売店で広域廃棄物処理指定店として登録されている廃棄二輪車を適正処理するための窓口です。店頭で「廃棄二輪車取扱店の証」が掲示されています。

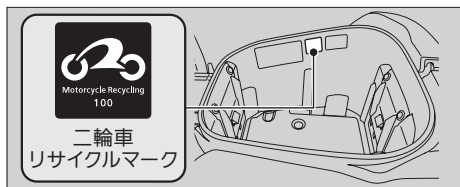


### 二輪車リサイクルマーク、リサイクル料金 (メインバッテリーは除く)

この車には、二輪車リサイクルマークが車体に貼付されています。マークが車体に貼付されている二輪車は、再資源化するためのリサイクル費用がメーカー希望小売価格に含まれていますので、二輪車を廃棄する際は、再資源化に必要なリサイクル料金はいただきません。

ただし、廃棄二輪車取扱店および指定引取場所までの収集・運搬料金はお客様のご負担となります。収集・運搬料金については廃棄二輪車取扱店にご相談ください。

二輪車リサイクルマークは、シートを開けると確認できます。▶P.51



お車を廃棄する際、二輪車リサイクルマークが必要です。マークは剥がさないでください。マークの再発行や販売の取り扱いはありません。リサイクルマーク対象車かどうか不明の場合は、(財)自動車リサイクル促進センターおよび二輪車リサイクルコールセンターにご確認ください。廃棄二輪車のお取り扱いに関しては、廃棄二輪車取扱店または二輪車リサイクルコールセンターまでお問い合わせください。

#### (財)自動車リサイクル促進センター

<http://www.jarc.or.jp/>

#### 二輪車リサイクルコールセンター

電話番号：03-3598-8075

受付時間：9:30～17:00（土日祝日、年末年始等を除く）

#### メインバッテリー

メインバッテリーの廃棄処分については、特別な取り扱いが必要です。廃棄処分については、(株)ホンダモーターサイクルジャパンまでお問い合わせください。

#### (株)ホンダモーターサイクルジャパン 整備技術相談窓口（テックライン）

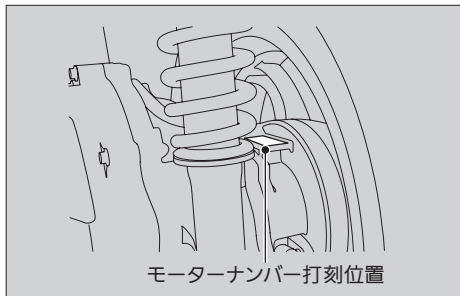
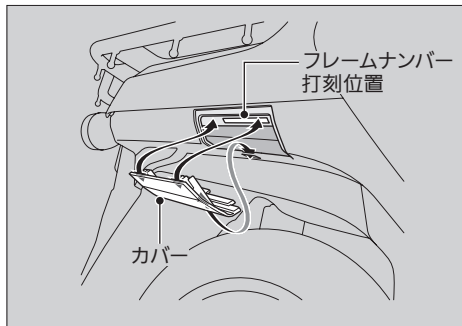
電話番号：0570-064189

受付時間：9:30～17:30

## フレームおよびモーターナンバー

フレームおよびモーターナンバーは、部品を注文するときや、車の登録に関する手続きに必要です。また、フレームナンバーは、お車が盗難にあった場合に、車を探す手がかりにもなります。ナンバープレートの登録番号と共に別紙に記録し、車と別に保管することを推奨します。

フレームナンバーはリヤキャリア右側のカバーを取り外すと確認できます。





# スペック

## ■ 主要諸元

型式	ZAD-AF71
全長	<b>EV-neo</b> 1,830 mm <b>EV-neo PRO</b> 1,875 mm
全幅	695 mm
全高	1,065 mm
ホイールベース	1,250 mm
最低地上高	120 mm
キャスト角	26° 30'
トレール長	74 mm
車両重量	<b>EV-neo</b> 106 kg <b>EV-neo PRO</b> 110 kg
乗車定員	1 名
一充電走行距離※1	34 km (車速 30 km/h 定地走行テスト値)
最小回転半径	1.7 m
定格出力	0.58 kW
メインバッテリー 電圧/容量	72 V-12.6 Ah (1 HR)
サブ (12 V) バッテ リー電圧/容量	12 V-3 Ah (10 HR)
減速比	第 1 次 3.411 第 2 次 4.076

※1 定められた試験条件のもとでの値  
(走行時の気象、道路、車両、整備などの諸条件により異なります。)

## ■ サービスデータ

ブレーキレバー の遊び	右	10-20 mm
	左	10-20 mm
タイヤサイズ	前輪	90/90-12 44 J
	後輪	100/80-12 56J
タイヤタイプ	チューブレス	
指定タイヤ	前輪	CHENG SHIN C-922F
	後輪	CHENG SHIN C-922R
タイヤ空気圧	前輪	175 kPa (1.75 kgf/cm <sup>2</sup> )
	後輪	250 kPa (2.50 kgf/cm <sup>2</sup> )
最小残溝量	前輪	0.8 mm
	後輪	0.8 mm
推奨トランス ミッションオイル	Honda 純正 ウルトラ E1	
	JASO T 903 規格: MB	
	SAE 規格: 10W-30	
	API 分類: SL 級	
トランスミッション オイル容量	オイル交換時	0.12 ℓ
	全容量	0.14 ℓ
トランスミッション オイル交換時期	初回: 5 年	
	以後: 4 年	

## スペック

### ■ バルブ (電球)

ヘッドライト	12 V-30/30 W
ブレーキ・テールライト	12 V-18/5 W
フロントウィンカー	12 V-10 W X2
リアウィンカー	12 V-10 W X2
ポジションライト	12 V-5 W

### ■ ヒューズ

メインバッテリー	メインヒューズ	60 A
サブ (12 V) バッテリー	メインヒューズ	15 A
	その他のヒューズ	10 A

### ■ 普通充電器

入力	100 V、330 VA、50/60 Hz
出力	DC86 V、3.2A/DC14V、2A

### ■ 急速充電器

入力	200 V、2900 VA、50/60 Hz
出力	DC86 V、14.2AX2/DC14V、2A

## 索引

## ア

アクセサリー .....	9
安全運転のために .....	5
安全上守っていただきたいこと .....	3
安全なライディング .....	2

## イ

インフォメーション .....	66
-----------------	----

## ウ

運転するときの注意 .....	6
-----------------	---

## オ

オートパワーセーブシステム .....	68
お手入れ .....	69
オドメーター (ODO) .....	16, 68

## カ

回生充電表示灯 .....	17
改造 .....	9
各部の名称 .....	12
カラーラベル .....	43

## キ

基本操作の流れ .....	10
---------------	----

## ク

クリップ .....	50
------------	----

## ケ

警告灯	
システム警告灯 .....	16, 64
速度警告灯 .....	16, 64

## コ

交換部品 .....	43
こんなときは .....	60
コンビブレーキ .....	6

## シ

シート	51
事故が起きたときの注意	4
システム警告灯	16, 64
充電ができない	62
充電	
急速充電器による充電	34
こんなときは	38
時間	26
充電器の取り扱い	27
使用電源	26
場所	26
普通充電器による充電	29
メインバッテリー	24
充電中表示灯	17
充電プラグ点検灯	17
充電リッド	28
出力制限状態表示灯	17
書類入れ	39, 68

## ス

スイッチ	
ウィンカー（方向指示器）スイッチ	18
ヘッドライト（前照灯）上下切換スイッチ	18
ホーンスイッチ	18
スタートの手順	20
スピードメーター（速度計）	14
スペック	75
スロットル	59

## セ

積載について	9
セレクトボタン	16
洗車	69

## ソ

走行できない	61
速度警告灯	16, 64

**タ**

待機状態表示灯 .....	17
タイヤ .....	47
正しい運転操作 .....	20

**チ**

駐車 .....	7
----------	---

**テ**

点検	
定期点検 .....	42
日常点検 .....	41
電装部品のトラブル .....	65
電動二輪車の取り扱い .....	3

**ト**

トランク .....	39
トランスミッションオイル .....	46, 53
トリップメーター (TRIP) .....	16

**ナ**

慣らし運転 .....	6
-------------	---

**ハ**

廃棄	
車 .....	72
充電器 .....	27
メインバッテリー .....	73
バッテリー	
サブ (12 V) バッテリー .....	44, 52
メインバッテリー .....	44, 67
バッテリー残量表示灯 .....	15
ハンドルロック .....	19

**ヒ**

ヒューズ .....	45, 65
表示灯	
回生充電表示灯 .....	17
充電中表示灯 .....	17
充電プラグ点検灯 .....	17
出力制限状態表示灯 .....	17
待機状態表示灯 .....	17
バッテリー残量表示灯 .....	15
方向指示器表示灯 .....	17
メインバッテリー定期点検灯 .....	17

## フ

服装.....	5
ブレーキ	
使いかた.....	23
ブレーキの遊び.....	54
ブレーキシュー.....	58
ブレーキロックレバー.....	19
フレームナンバー.....	74

## ヘ

ヘルメットホルダー.....	39
----------------	----

## ホ

方向指示器表示灯.....	17
保管.....	71

## メ

メインスイッチ.....	18, 68
メインバッテリー定期点検灯.....	17
メインバッテリーの充電.....	24
メーター.....	14
メンテナンス.....	40

## モ

モータードライブカットオフシステム.....	68
モーターナンバー.....	74

## リ

リサイクルマーク.....	72
---------------	----

# お問い合わせ

お車についてのお問い合わせ、ご相談は、まず Honda 二輪 EV 取扱店にお気軽にご相談ください。

二輪 EV 取扱店

TEL

お問い合わせ、ご相談は、全国共通のフリーダイヤルで下記のお客様相談センターでもお受けいたします。

**本田技研工業株式会社 お客様相談センター**

フリーダイヤル オーハローバイク **0120-086819**

受付時間 9:00～12:00 13:00～17:00

〒351-0188 埼玉県和光市本町 8-1

所在地、電話番号が変更になることが  
ありますのでご了承ください。

お車に関してお問い合わせいただく際は、お客様へ正確、敏速にご対応させていただくために、あらかじめ、お手元にお車の車検証や届出済証などの登録書類をご準備いただき、下記の事項をご確認のうえ、ご相談ください。

①車両型式、車台番号、原動機型式、登録番号、登録年月日

②車種名、タイプ名、走行距離

③ご購入年月日

④二輪 EV 取扱店



30GGK600  
00X30-GGK-6000

© 500.2010.11.B  
© 2010 本田技研工業株式会社